

◎豊後大野市議会基本条例制定(平成24年10月1日)後の基本条例に基づく議会活性化取り組み状況の検証 (令和3年3月末現在)

番号	取り組み	開始	基本条例	内容	成果	課題	今後
1	議会だよりやホームページで賛否を公表	平成24年10月	第13条	議案等に対する議員個人の賛否を○×の一覧表で公表している。	議員の個々の議案に対する考え方を市民に分かりやすく、かつ明確に伝えることができています。	特になし。	拡充 継続 縮小 休止 廃止
2	議員研修の実施	平成24年11月	第19条	ICT推進のためタブレット研修を行うなど、これまでに計10回実施した。	ICT推進に向けての理解と知識の向上が図られた。	成果については個人差がある上、目に見えるものでもないため、市民に伝わりづらい。	拡充 継続 縮小 休止 廃止
3	傍聴席のバリアフリー化、磁気ループ及び傍聴者用モニターの設置	平成25年2月	第2条	新庁舎建設に伴い整備した。	傍聴者の利便性が向上した。	特になし。	拡充 継続 縮小 休止 廃止
4	議会図書室を設置	平成25年2月	第21条	定期的に月刊誌や書籍等を購入している。	議員の調査研究を補助する環境が整った。利用についても徐々に増えてきている。	更なる利用促進が課題。	拡充 継続 縮小 休止 廃止
5	自由討議採り入れ	平成25年3月	第3条・第17条	主に常任委員会の請願審査において活用している。また令和2年11月から議員間討議を開始した。	自由な討議で議論を尽くすことにより、合意形成が図られた。	手法を含め、検討が必要。	拡充 継続 縮小 休止 廃止
6	議会活性化委員会の設置	平成25年5月	第22条	各常任委員会から2名ずつ、6名で構成している。	議会の活性化を強く推進できている。	通年の会期制導入の検討。	拡充 継続 縮小 休止 廃止
7	議会基本条例の研修	平成25年5月	第4条	4年に一度の改選後、速やかに実施している。	議員に議会基本条例の理念の浸透が図られた。	特になし。	拡充 継続 縮小 休止 廃止
8	議会報告会・意見交換会の開催	平成25年8月	第14条	全市民向けの報告会はこれまで計9回実施、参加市民はのべ1160名。H29からは手話通訳も導入した。	市民に議会の活動状況を知ってもらうとともに、意見交換により、市民意見の広聴が図られた。また、市に対し回答を求めるなど、市民意見の反映にも繋げている。	市民参加者数の伸び悩みや固定化が課題。また市からの回答に対して議員間討議等で検討する。	拡充 継続 縮小 休止 廃止

◎豊後大野市議会基本条例制定(平成24年10月1日)後の基本条例に基づく議会活性化取り組み状況の検証 (令和3年3月末現在)

番号	取り組み	開始	基本条例	内容	成果	課題	今後
9	議案書の貸し出し	平成26年3月	第2条	市民向けの貸し出し用として議案書等を準備している。	詳細な議案内容を知りたい市民に対し、その機会を提供した。	ほとんど貸し出し希望はない。	拡充 継続 縮小 休止 廃止
10	議案書をホームページに掲載	平成26年3月	第2条	議案をPDF化して掲載しており、印刷やダウンロードもできるようにしている。	詳細な議案内容を知りたい市民に対し、その機会を提供した。	特になし。	拡充 継続 縮小 休止 廃止
11	本会議をケーブルテレビで生中継	平成26年3月	第2条・第6条・第13条	開会日、一般質問、閉会日の本会議をケーブルテレビで生中継で放送している。(一般質問は基本条例制定前のH23.6から)	市民に議会活動を知ってもらう機会が拡大した。	ホームページでのインターネット中継について調査・検討が必要。	拡充 継続 縮小 休止 廃止
12	議会基本条例の検証	平成26年11月	第23条	2年に一度、活性化委員会で検証した上で、必要に応じて修正を行い、より適切な条例としている。令和3年2月にも検証し、結果を全議員に配布しホームページにも掲載した。	条文の規定や取組状況などの検証が定期的に行われている。	特になし。	拡充 継続 縮小 休止 廃止
13	次回の定例会開会日をホームページで周知	平成26年12月	第2条	各定例会の閉会日の議会運営委員会後、1週間以内にホームページに掲載している。	議会の日程をいち早く、そして広く市民に周知できている。	特になし。	拡充 継続 縮小 休止 廃止
14	参考人として意見陳述の機会を確保	平成26年12月	第7条・第15条	平成27年6月、平成29年3月、令和元年7月、令和2年6月に常任委員会で参考人を招致して意見陳述の機会を確保した。	参考人の意見を聞くことにより、委員会審査の充実が図られた。	本会議での参考人の招致実績はない。	拡充 継続 縮小 休止 廃止
15	所管する調査事項の全てを継続調査の項目とする議決	平成27年5月	第16条	閉会中でも常任委員会の所管事務調査が可能となった。	進捗状況調査など通年的な常任委員会活動が活性化している。	特になし。	拡充 継続 縮小 休止 廃止
16	議会版事務事業評価の実施	平成27年9月	第8条	各常任委員会で事業を選定し実施している。H30から複数事業を対象とした。	対象事業数の増加や、評価報告の中で提言を行うなど、より積極的に取り組んだ結果、議会提案の実効性を高めることができている。	適切な選定事業数の検討が必要。	拡充 継続 縮小 休止 廃止

◎豊後大野市議会基本条例制定(平成24年10月1日)後の基本条例に基づく議会活性化取り組み状況の検証 (令和3年3月末現在)

番号	取り組み	開始	基本条例	内容	成果	課題	今後
17	議場コンサート開催	平成29年3月	第2条	三重総合高校吹奏楽部に演奏を依頼し議場において開催した。	親しみやすい開かれた議会をPRするとともに市内唯一の三重総合高校、吹奏楽部の活動紹介の場も提供できた。	開催周期について検討が必要。	拡充 継続 縮小 休止 廃止
18	政策提言	平成29年3月	第8条	政策提言は各常任委員会で取り組み、市へ提言した。	提言の一部が実施されるなど、少しずつではあるが成果が見られる。	政策提言の取り組みは、常任委員会で実施するのが適切か検討が必要。	拡充 継続 縮小 休止 廃止
19	政策立案	平成29年3月	第8条	政策立案は産業建設常任委員会で検討し、条例を発議した。	制定された豊後大野市の大地の恵みで乾杯条例により、地域産業の発展及び郷土愛の醸成が図られている。	次の政策立案が課題。	拡充 継続 縮小 休止 廃止
20	分野別意見交換会の開催	平成30年5月	第14条	ケーブルテレビや議会報で各種団体向けの分野別意見交換会を呼びかけ、常任委員会単位で意見交換会を開催した。	2団体と意見交換会を実施するなど市民意見広聴の機会拡充が図られた。	昨年からのコロナ禍により、開催が困難となった。開催方法について検討が必要。	拡充 継続 縮小 休止 廃止
21	危機管理体制	令和2年5月	第24条	令和2年に「豊後大野市議会災害・危機管理対策会議設置要綱」を定め、対策会議を開催した。	新型コロナウイルス感染症対策についての要望書を執行部に提出した。	特になし。	拡充 継続 縮小 休止 廃止